

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史
那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階
沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20200721

20期 No.

《部内資料》

7月18日 県社保協呼びかけ

コロナで大変 なんでも電話相談に切実な電話相次ぐ



7月18日10時—15時まで短時間でしたが、新型コロナウイルスの生活への影響が長期化する中、県社保協では経済から医療まで幅広い相談を受けつける電話相談会を呼びかけました。この電話相談会は新型コロナウイルスによる様々な疑問や悩みにこたえようと設けられたもので民医連、医療生協、生健会、沖商連から7名の相談員が、個人事業者が申請できる給付金から感染への不安、経済や医療に関する問題まで幅広く、対応しました。



RBCから取材を受け、お昼のニュースで放映され、「医療介護、そして自営業の経営、生活保護などの生活困難などかなり幅広い内容でいろいろな相談に乗れるかなと思っています。どこに何を相談したらいいのかが分からないという方も多いと思うんですね。まずは気になることがある方は相談していただけたらと思っています」(県社会保障推進協議会・高崎大史事務局長)と呼びかけました。

相談内容としては、労働相談3件、自営業の相談3件、家賃1件、感染相談1件、基地問題2件、その他2件 合計12件でした

具体的には「基地で仕事しているが、感染の不安で家族から別居してほしいといわれ、単身でアパートを借りた。家賃補助は出ないだろうか?」「家賃2か月滞納で退去を言われているがどうしたらいいか」「コロナの影響で、退職か、異動か迫られている」「服についてのウイルスは大丈夫か」「持続化給付金を受けたい」「持続化給付金では足りない」など切実な相談が寄せられました。

コロナ禍による生活不安はまだ続きます。今ある制度の紹介と活用をすすめながら国の責任で支援策の拡充を求めていきましょう。

☆7月8日RBCニュースで紹介されました <https://xfs.jp/0qkG7>

